



～人と人とを心でつなぐ“医療コンサルティング”～

C-plan 通信 2014・5月号

<http://c-plan.biz>

info@c-plan.biz

☎ 03-6280-4897

☎ 050-3588-6764

★患者さんから選ばれる医療を目指して★

「安心・安全・信頼」を得るポイントは良好なコミュニケーションです。

良好なコミュニケーション力を軸にあらゆる側面から組織風土を組み取り、新たな環境づくりに

取り組み続けます。

常に問題意識を持ち続け、前向きに経営に取り組まれている企業様・医療機関を支援し私達が提供したサービスがクライアント様に寄与し、ひいてはその先にあるお客様・患者さんに喜んで頂けることが私達の喜びです。



今月の C-plan

2014年2月1日より、本社が移転致しました。

八重洲口より車で5分。徒歩15分。

近くにお越しの際には、是非お立ち寄りください。

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-7-7

八重洲レザンビル 7F

TEL: 03-6280-9241 FAX: 050-3588-6764

- ・医療従事者としての心構え
 - ・接遇の基礎
 - ・院内コミュニケーション
 - ・報・連・相
 - ・人材育成
 -等
- 研修内容・コンサルティング内容・お時間・費用などお気軽にご相談ください

4月3日秋田県内公的医療機関にて新入職員研修



緊張感が伝わりました

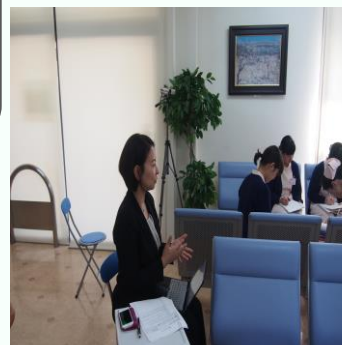
4月3日京都府内医療機関にて新入職員研修

楽しそうです!!

まとまりあるスタッフです!

4月24日 埼玉県内眼科医院にて継続研修

4月8日長崎県にて研修医研修会



姿勢が良いです!!



◆賃金体系◆



＜介護職＞低い賃金で疲弊 相次ぐ離職「仕事夢
ない」

毎日新聞 4月27日(日)8時38分配信

介護職員など職種別の賃金例

職種	平均年齢 (歳)	勤続年数 (年)	平均賃金 (賞与を除く)
ケアマネジャー	47.5	8.3	25万8900円
ホームヘルパー	44.7	5.6	21万8200円
福祉施設介護員	38.7	5.5	21万8900円
医師	41	5.5	83万3200円
看護師	38	7.4	32万8400円
保育士	34.7	7.6	21万3200円
高校教員	43.6	14.9	42万6300円
百貨店店員	42.1	13.2	23万0000円
理容・美容師	29.3	6.2	22万8400円
調理師	43	8.5	24万8400円
警備員	48.8	7.1	22万0000円
タクシー運転手	58.3	9.4	23万3200円
製菓工	37.4	13.1	30万4800円

※2013年の賃金構造基本統計調査をもとに作成

介護職員など職種別の賃金

過酷さの割に賃金が低いと指摘される介護職。政府も手は打ってきたものの、依然、他業種との格差は埋まらない。人材確保には、賃金アップか外国人の活用か――。ここへきて国の姿勢も揺れている。【遠藤拓、佐藤丈一、中島和哉】

常夜灯がぼんやり照らす廊下を、おむつやタオル、ごみ箱を積んだ台車が行き来する。11日深夜。東京都葛飾区の特別養護老人ホーム(特養)「葛飾やすらぎの郷」に勤めて3年目、生活援助員の宮崎梓さん(22)の夜は長い。

1フロアには約40人が入居する。大半は80～90歳代で7割は認知症だ。同僚と2人、一晩で4回は巡回し、おむつを替え、トイレを介助し、体位を変える。消灯後も徘徊(はいかい)する人はいるし、繰り返し呼び出しボタンを押す人もいる。

ひと息つけるのは午後11時の食事と2時間の仮眠の間だけ。「朝方トイレに行きたくなりそう。でも、呼ばないようにする」。そう気遣う女性入居者に、宮崎さんは「気にしなくていいんですよ」とほほ笑んだ。

月4～5回の夜勤日は、午後5時前から翌朝10時前までの勤務。しかし、この日は引き継ぎ書類の記入やシーツの交換に追われ、朝食にありつけたのは昼近くになっていた。

◇平均を9万円下回る

正規職で介護福祉士の資格を持つ宮崎さんの月給は、手取りで約18万円。15万円を切るという同業の友人よりは「恵まれている」と感じる。とはいえ、介護労働者の賃金は他業種に比べて低い。全国労働組合総連合のアンケート調査(昨年10月)では、手当を除く正規職の平均賃金は20万7795円。厚生労働省調査の全産業平均(29万5700円)を約9万円下回る。

長らく介護は主婦による家事労働とみなされてきた。職業としての確立が遅れ、低賃金から抜け出せない。介護労働安定センターによると、介護職の離職率は17.0%(2011～12年)で、全産業平均(14.8%)を上回る。求職者1人に働き口がいくつあるかを示す2月の有効求人倍率は2.19倍。全産業平均(1.05倍)の2倍だ。

「家族を養えないからな」。首都圏の介護施設に勤める30代の男性介護福祉士は、結婚を機にそう言って「寿退社」していく仲間を大勢見送ってきた。この道7年目。専門学校同期80人のうち、続けているのは十数人。自身の手取りは初任給から2万円ほど上がり、ようやく月約23万円となった。が、同業の妻は初めて産んだ子の育児中。共働きでなければ生活は成り立たず、保育所を確保できるかが不安でならない。

「仕事に夢を見られない。このままなら、なり手はどんどんいなくなる」

日本海に臨む金沢市郊外の特養「やすらぎホーム」。入居する母(83)の昼食介助に隣の石川県野々市市から訪れる主婦(64)は通ううちに介護職員の疲弊を知り、入居者の家族と職員の処遇改善を求める署名に取り組むようになった。

母親が入居したのは06年10月。脳梗塞(こうそく)で半身不随となり、食事、排せつなどすべてに介護が必要だ。感情が高ぶるとパジャマを歯で切り裂く。そんな母をてきぱき世話してくれる職員たちも、入居当初からの顔なじみは3人に1人ほど。慣れた頃にはいなくなるからだ。この主婦は訴える。「親の面倒を見るかのようにしてくれた職員が、どんどん辞めている。専門職にふさわしい給料が必要です」



◆人材確保の問題点◆

看護師業界の離職率に関係者悩み外国人導入の必要性を訴える

「うちの病院は毎年 20～30 名ほど看護師を採用しますが、同じ年に 10～20 名くらいが辞めていく。離職率だけを見れば、看護師の世界はまるでブラック企業ですよ。春先に毎年多くの看護師が退職していくのは、もはや風物詩ですね」

そのため息混じりに話すのは、都内某病院の事務スタッフ。手厚い体制が敷かれている私立病院などは別かもしれないが、縦割りの体制が当たり前の国立病院・公立病院では、看護師の離職率は軒並み高いという。

慢性的な人手不足によってもたらされるオーバーワークや労働環境はもちろんのこと、公務員が院内を仕切るためお役所的な風通しの悪さがあったり、院内の派閥争いに辟易して辞めていく者も多いのだとか。

「1 年もたない看護師もいますけど、3～5 年目に辞めてしまう看護師が意外に多い。というのも、前述したように退職する看護師が多いので、そのしわ寄せが残った看護師に向かってしまう。例えば、馬車馬のように必死に働く期間が終わり、ようやく余裕が出てくる 3 年目あたり。

本来であれば一息つける段階なのですが、新人を育てることのできる看護師の人材不足もあって、今度は基本業務に加えて育成の面倒まで見なくてははいけなくなる。するとそれに耐えかねて辞めてしまう…新人の看護師を育てることができないと、回りまわってその後の離職率も高めてしまう悪循環につながるんです」(前出・医療スタッフ)

労働環境を良くすることが、なによりの処方箋なのだろうが、なかなかそうはいかないのが現状だ。加えて、離職率を高める大きな要因としてこんな理由があるという。

「看護師というのは“濡れ手に粟”なんです。辞めても、比較的再就職しやすい。普通であれば、再就職をするというのはとても負荷のかかること。ですが、高齢化社会になりつつある日本では、多くの病院が慢性的な看護師不足に悩まされている。特に地方になればなるほど不足しているでしょう。日本という大きなくくりで考えたときに、退職する人の数よりも、採用募集数のほうが上回りがちなんです」(前出・医療スタッフ)

なるほど確かに、若手時代にプライベートの時間を犠牲にしてまで働きたくない、数年休んでまた働けばいいや…と考えてしまう人が増えてしまうのも納得だ。

「看護師だけでなく、病院全体として考えていくべき問題。仕組みを変えていかないと、病院も人材も育っていかない。危機感を持つために、やはり私は外国人スタッフの導入をもっと推進していくべきだと思います。うかうかしていたら、働き口がなくなるという意識がないことには、退職と再雇用の繰り返し。劇薬になるかもしれませんが、意識を変えるためには必要なことだと思いますね」(前出・医療スタッフ)

技術も人材も育ってこそ、本来の医療の提供ができるのではない
でしょうか。体制の改善が必要と考えます。



◆事故◆

患者12人の個人情報入ったUSB、看護師が紛失

<http://sankei.jp.msn.com/affairs/news/140416/crm14041617020008-n1.htm>

2014.4.16 17:02

鳥取県立厚生病院(同県倉吉市)は16日、30代の女性看護師が、患者12人分の名前や年齢、病名などを記録したUSBメモリーを紛失したと発表した。情報が利用された形跡は確認していない。

病院によると、看護師は研究のため、過去2年間にカテーテル挿入手術をしたがん患者らの情報をメモリーに保存。看護師の控室で保管していた。3月23日に別の部屋で使用し、28日に紛失に気付いた。病院外へは持ち出していない。

井藤久雄病院長は「情報管理が至らず、深くおわび申し上げます」と話した。



◆医療行為◆

看護師の特定行為、「危険な行為除くべき」- 日医・医療関係者検討委が報告書

<http://www.cabrain.net/news/regist.do;jsessionid=8BC8D9CD582A166D72A9406FD227163F>

日本医師会の医療関係者検討委員会（委員長＝井上雄元・千葉県医師会長）は、チーム医療での医療関係職種連携に関する報告書を取りまとめた。この中で、厚生労働省の「チーム医療推進のための看護業務検討ワーキンググループ」が取りまとめた看護師による41の特定行為の案について、「患者の医療安全の観点から慎重に議論し、危険な行為は除いていくべき」との意向を示した。藤川謙二・常任理事が16日に開かれた記者会見で説明した。【松村秀士】

報告書では、41の特定行為の案の中には、医師資格の保有者しか行うことができない「絶対的医行為」と思われる危険な行為が含まれており、医療安全が脅かされかねないと指摘。日本麻酔科学会や日本看護技術学会、日本がん看護学会などからも、特定行為の内容に対して反対意見が上がっているとした。

また、医師不足を補ったり、チーム医療を推進したりしていくため、日本看護協会の資格認定制度である「専門看護師」「認定看護師」の充実でなぜ対応しないのかを今後、主張していく考えを示した。

多職種連携の在り方については、「医師のリーダーシップが不可欠」と強調。チーム医療を推進するための課題として、▽各医療スタッフの教育やレベルアップ▽情報伝達システムの構築▽多職種間の情報交換—などを挙げた。

報告書では、医師会立の看護学校が学生を受け入れる実習施設を確保できないことにより、5年前に比べて22校減った点を問題視。厚労省と文部科学省の間で実習施設の確保について協議してもらうよう、引き続き日医が要望していくべきだとした。



◆意識的行動の無意識化◆

参考著書 労災情報センター「今日からできる医療機関の接遇向上術」より

株式会社 C-plan 代表取締役 小山美智子著

～良い習慣を身に付けるには～



※少しずつ意識を高め、行動を良い方向に変えていくと、無意識でも、

相手にとって感動を与えていけるようになります。

